



障害のある子ども達がわくわくするようなからだの取り組み、体育の授業づくりについて学び合いましょう。

新しいことがたくさん発見できる学習会です。

2019年3月24日<日>
10:00～16:00

全国障体研 春の学習会 (定員25名)

場所：大津市ふれあいプラザ

(京阪浜大津駅 徒歩3分 JR大津駅 徒歩15分)

午前：講演「当たり前に行っていることはスゴイこと

～カラダに学ぶ、ワタシの再発見～」

講師 作業療法士 萩原 広道先生

午後：実践報告・模擬授業体験

主催：全国障害児体育研究連絡協議会

講師

萩原 広道 先生

プロフィール

京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程、日本学術振興会特別研究員DC、京都外国語大学非常勤講師。

作業療法士として主に発達障害児の支援に従事しながら、発達科学の領域で言語獲得について研究を進めておられます。

今回の講演テーマ

姿勢を保つ、右手と左手を協調的に扱う、他者に合わせる、といったことは、多くの人がなんの不都合もなく、無意識に、自然に、当たり前に行っていることです。

しかし、これらのことを当たり前に行っていることは、実はとてもスゴイことです。そして、これらのことを行うことが難しい場合に、よく「不器用」と呼ばれます。

実際に体を動かして体験しながら、不器用の背景、そして「当たり前に行っていること」の謎に迫ってみたいと思います。

参加申し込み・問い合わせ

前田 恵美

e-maeda@leto.eonet.ne.jp

①名前

②所属

③連絡先

を必ずご記入ください。